



国土交通行政関係功労者表彰 (水閘門操作員)

長年にわたり洪水から地域住民の生命と財産を守るため尽力してこられた水閘門操作員の方々への功労者表彰が行われ、鳥越出張所管内においては、安彦和敏氏（作の巻排水樋管）ら5名が表彰を受けました。受賞された皆さん、おめでとうございます。

◆東北地方整備局長表彰

作の巻排水樋管	安彦和敏
津谷第二排水樋管	齊藤輝明
川前排水樋管	佐藤俊男
堀内第三排水樋管	伊藤正登

◆新庄河川事務所長表彰

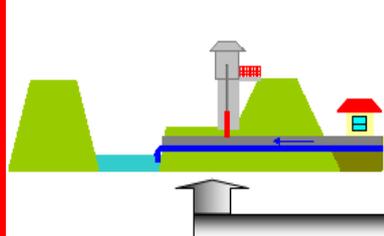
角間沢排水樋管	蔵津松雄
---------	------

敬称略

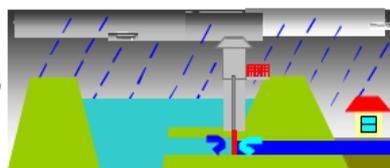
表彰伝達式の様子
(7月23日)



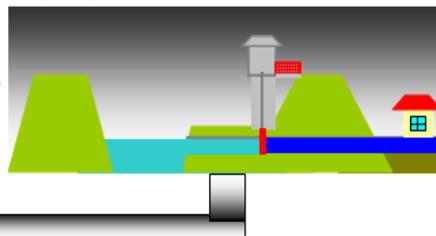
①<平常時> ②だんは
扉は開いていて生活排水等を川に流しています。



②<出水時> たくさん雨が降ると・・・
川の水位が高くなり、川の水が住宅側に流れこみ（逆流）浸水の被害を受けます。この被害を防ぐために扉を閉じます。



③<出水時> 雨がやみました
川の水位が低くなり、住宅側への逆流の心配が無くなりました。



水閘門の操作は、昼夜問わず風雨の中とても大変な業務ですが、今後も宜しくお願いします。

河川愛護モニターの皆さんと意見交換を行いました！

8月3日、事務所が所管する最上川や鮭川等を日頃から眺め親しんで来られたモニターの方々から、最近の河川の変化状況や疑問に感じていること、河川愛護に関する提案等様々な視点から意見が出され活発な意見交換が行われました。



河川の監視体制を強化するとともに、河川愛護思想の普及啓蒙による河川の清潔保持・河川管理施設の保全等に役立たせるため地域の方々に協力を求めているもので、河川3出張所にそれぞれ2名ずつのモニターが委嘱されています。

地域の小中高生との学び・ふれあい

最上川200kmを歩く

山形新聞・山形放送の企画である「最上川200kmを歩く」、鳥越出張所は今年も案内役として参加しました。蒸し暑い中、元気に堤防を歩いてくれた真室川町立真室川小学校の皆さんお疲れ様でした。



川の水質も調べてみよう

(参加した児童の言葉より)
『生活に使われている最上川の水の大切さを感じた。いつまでも大事にしていきたい。』

中高生が職場体験に訪れました!

★インターンシップ

新庄神室産業高校 (6/23~6/25)
山形工業高校 (7/7~7/9)

全日程各3日間の内のわずか半日ずつではありましたが当出張所管内において、水防工法(積み土のう)・水質汚濁対策(オイルフェンス)・除草・樋管点検等の体験をしていただきました。この中から将来国交省職員が出るかも・・・?



新庄神室産業高校
(2年生7名)

積み土のう体験



山形工業高校
(2年生2名)

オイルフェンス設置体験



★一日河川パトロール

八向中学校 (7/30)

1年生と3年生計4名の皆さんが、管内の管理施設の点検や見学をするとともに、最上川の水質調査を実施してくれました。



なかなか扉が下がらないぞ・・・!

新庄河川事務所 鳥越出張所

〒996-0002 新庄市金沢字中村 1495-13
(TEL)0233-22-6038 (FAX)0233-22-0083
<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou>

河川に関するご意見や情報等ありましたら
お寄せ下さい!